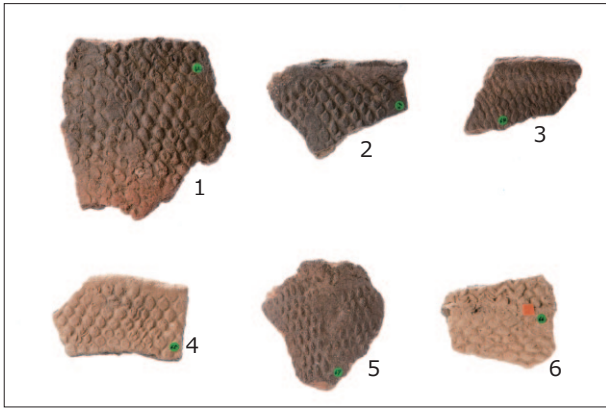


縄文時代学習キット一覧 ①

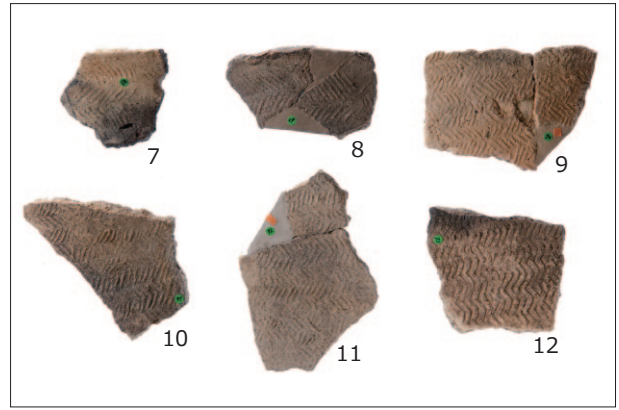


楕円押型文土器 (だえんおしがたもんどき)

縄文時代学習キット 1~6

古城遺跡(高千穂町)

縄文土器は日本で最初に作られた土器です。その名のとおり縄目文様がある土器が有名ですが、他に様々な種類があります。押型文は文様を彫刻した木の棒を使いました。



山形押型文土器 (やまがたおしがたもんどき)

縄文時代学習キット 7~12

古城遺跡(高千穂町)

連続した山形文を彫刻した木の棒を、土器の表面に転がして、文様を付けました。楕円押型文と同様、今から約8,000年前の縄文土器です。

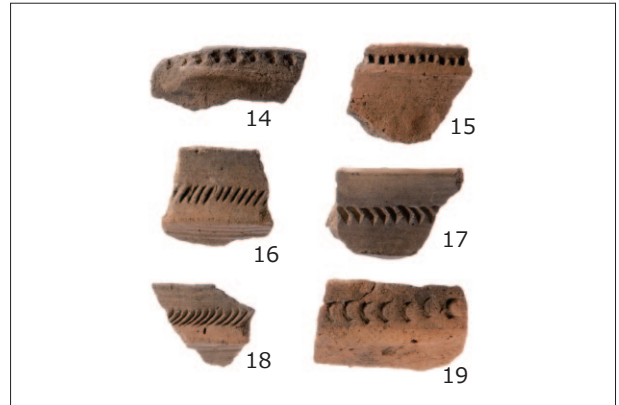


無文土器 (むもんどき)

縄文時代学習キット 13

右葛ヶ迫遺跡(宮崎市)

縄文時代の土器のすべてに文様があるわけではなく、まったく文様が無い無文土器と呼ばれる土器もあります。

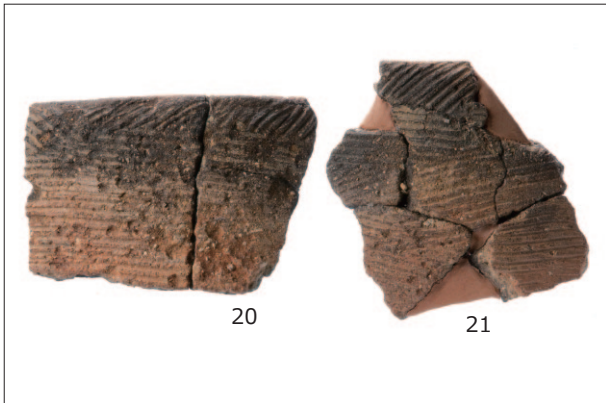


刺突文土器 (しとつもんどき)

縄文時代学習キット 14~19

竹ノ内遺跡(宮崎市清武町)

棒状の道具を土器の表面に突き刺して付けた点状の文様を刺突文といいます。写真の刺突文土器は今から約4,000年前の縄文土器です。

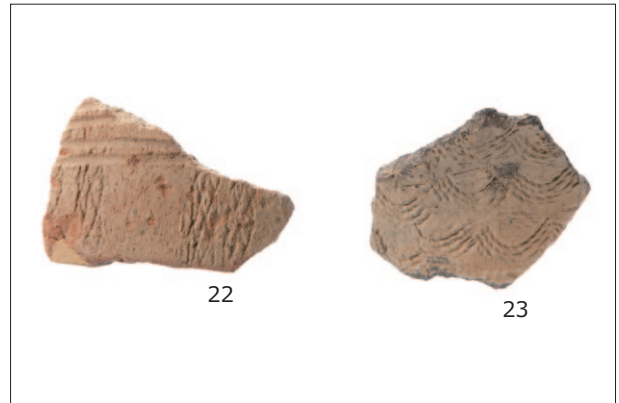


貝殻条痕文土器 (かいがらじょうこんもんどき)

縄文時代学習キット 20~21

尾小原遺跡(新富町)

二枚貝の貝殻を土器の表面に押し当てたり、引きずって付けた文様を貝殻条痕文といいます。貝殻条痕文土器は南九州に多く見られる縄文土器で、これらは約9,000年前のものです。



撚糸文土器 (よりいともんどき)

縄文時代学習キット 22木脇遺跡(国富町)/23野首第1遺跡(高鍋町)

縄紐を撚り合わせたものを木の棒などに巻きつけて、土器の表面に転がして文様を付けたものを撚糸文土器といいます。写真の土器は今から約9,000年前のものです。

縄文時代学習キット一覧 ②



深鉢（ふかばち）

縄文時代学習キット 24

平畑遺跡(宮崎市)

おもに食べ物の煮炊きに使われた縄文土器です。そのため口の周りに黒いススが付いています。



浅鉢（あさばち）

縄文時代学習キット 25

古城遺跡(高千穂町)

黒色磨研土器と呼ばれる4,000年～3,000年前の土器で、黒光りするほどに磨かれています。主に食べ物を盛り付けるために使ったと考えられます。



脚台付浅鉢（きゃくだいつきあさばち）

縄文時代学習キット 26

永山原遺跡(都城市)

台付皿ともいいます。食べ物を盛り付けるために使われたと考えられますが、華やかな文様に彩られることも多く、祭事など特別な場の道具だったのかもしれません。

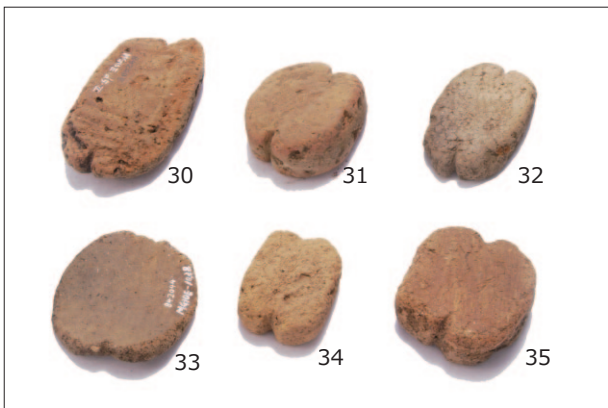


縄文土器底部破片（じょうもんどきていぶはへん）

縄文時代学習キット 27～29

右葛ヶ迫遺跡(宮崎市)

土器の底の部分には、網代や木の葉、モジリ網などの痕跡が付いている場合があります。当時の人々が土器を作る際にそれらを敷いていたことがわかります。



土器片錘（どきへんすい）

縄文時代学習キット 30～35

平畑遺跡(宮崎市)

縄文土器の破片をリサイクルして使用した漁網の錘です。えぐりは切目を入れる方法で作られています。これとは別に、石を使って作った漁網の錘は石錘といえます。



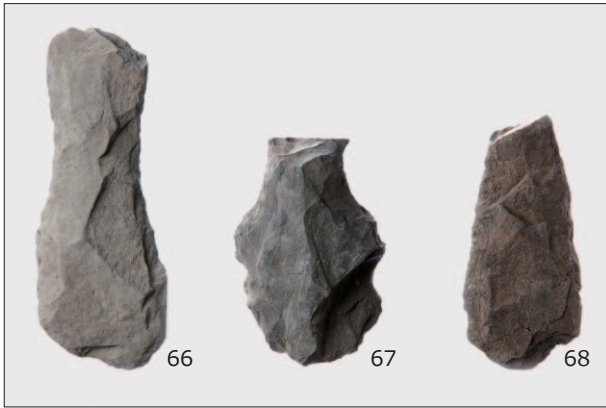
石錘（せきぞく）

縄文時代学習キット 36～65

出土地不明(宮崎県内出土)

石を割ってできたかけら（剥片）を加工して作った矢じりです。弓矢が登場した縄文時代以降、弥生時代まで使われ続けました。

縄文時代学習キット一覧 ③



打製石斧（だせいせきふ）

縄文時代学習キット 66～68 出土地不明(宮崎県内出土)

石で作られた^{くわ}鋏で、木製の柄^えをつけて、地面を掘るのに使われたと考えられます。



磨製石斧（ませいせきふ）

縄文時代学習キット 69平畑遺跡(宮崎市)／70学頭遺跡(宮崎市高岡町)

石を打ち欠いて作った木を切り倒すための^{おの}斧です。表面を砥石^とで磨^{みが}いて仕上げています。木製の柄^えを付けて使いました。



石匙（いしさじ）

縄文時代学習キット 71～76 妙見遺跡(えびの市)

剥片^{はくへん}を加工して作った縄文時代特有の石器です。携帯用のナイフのような道具と考えられ、紐^{ひも}を付けるためのつまみ^{つまみ}が作り出されています。



石錐（いしきり）

縄文時代学習キット 77 竹ノ内遺跡(宮崎市清武町)

剥片^{はくへん}の一部を鋭く尖^{とが}らせて作った石の錐^{きり}です。動物の皮や骨・角・牙などに穴をあけるために使われました。



磨石（すりいし）

縄文時代学習キット 78, 79 竹ノ内遺跡(宮崎市清武町)

ドングリなどの植物質の食料を砕^{くだ}いたり、すり潰^{つぶ}すために使われたと考えられる石器です。河原などに落ちている円礫^{えんれき}が材料とされました。



敲石（たたきいし）

縄文時代学習キット 80, 81 竹ノ内遺跡(宮崎市清武町)

石器の材料を取るために石を打ち欠いたり、食材の下ごしらえ^{はなごしらえ}（堅果類などを砕^{くだ}いたりする）などに使われたハンマー^{ハンマー}です。敲^{たた}いた部分は凸凹^{でこぼこ}になっています。

縄文時代学習キット一覽 ④



石皿 (いしざら)

縄文時代学習キット 82 竹ノ内遺跡(宮崎市清武町)

表面が滑らかにくぼんでいる大形で扁平な石器です。磨石や敲石と組み合わせて、ドングリなどの食料を加工するための受け皿として使われました。



打欠石錘 (うちかきせきすい)

縄文時代学習キット 83~88 門川南町遺跡(門川町)

魚を捕るための網の錘に使われた石器です。紐を結びつけるために、両端がえぐられています。海や川などの状況に応じて重さが変わりました。



切目石錘 (きりめせきすい)

縄文時代学習キット 89,90 右葛ヶ迫遺跡(宮崎市)

打欠石錘と同様、漁網の錘として使われたと考えられます。一般的な打欠石錘よりも軽いものが多い傾向があります。

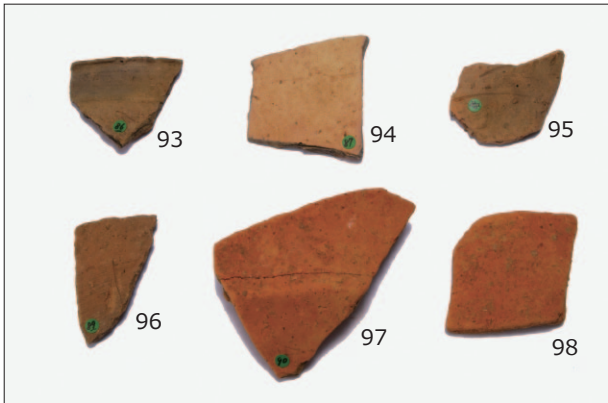


有溝石錘 (ゆうこうせきすい)

縄文時代学習キット 91,92 市納上第4遺跡(川南町)

打欠石錘と同様、漁網の錘として使われたと考えられます。打欠石錘よりも厚みのある礫を素材としています。

弥生時代



弥生土器片 (やよいどきへん) 《比較用》

縄文時代学習キット 93~98 下那珂遺跡(宮崎市佐土原町)

弥生土器は朝鮮半島との交流(水稲耕作など)を通じて生まれました。縄文土器と比較して、その違いを観察してみてください。



ドングリ (左:マテバシイ、右:スダジイ)

縄文時代学習キット 99,100 現生種

縄文時代にドングリは食用として利用されていたと考えられ、ドングリを貯蔵した穴も発掘で見つかっています。マテバシイやスダジイは渋味がなく、食用に適しているそうです。